

広報



# あ ま 海 士

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場  
TEL (08514) 2-0111  
◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)  
Eメール: info@town.ama.shimane.jp

平成17年

# 5

No. 392



### 町の人口世帯数

総人口 2,518人(±0)  
男 1,187人(+6)  
女 1,331人(-6)  
世帯数 1,092世帯(+6)  
住民基本台帳(4月末現在)  
( )内は2月末との比較

### \*\*町の未来を託す究極のふるさと振興\*\*

この度、完成した「海士御塩<sup>あまのしおつかさどころ</sup>司所」(保々見いわがき工場手前)と「CAS<sup>キャス</sup>凍結センター」(海士港)の竣工式があいついで行われました。町は新産業の位置づけのもと、農林水産物の安定生産・安定供給を図り、農林水産業の発展を目指します。写真は、「CAS凍結センター」の竣工式の様子です。この施設が地域再生の核施設として、塩づくりとともに、新たな物語が生まれることを期待するところです。  
(関連記事P8掲載)

### 主な内容

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| ●平成17年度施策方針…………… 2～5     | ●お知らせ他…………… 13～15 |
| ●平成17年度当初予算…………… 6～7     | ●議会だより…………… 16～19 |
| ●町の話…………… 8～9            | ●教育だより…………… 20～23 |
| ●海士町住みよいまちづくり計画策定… 10～12 | ●戸籍の窓…………… 24     |

# 平成17年度行政施策方針

## 「自立する海士」の創造

3月定例議会において提案した平成17年度予算案の説明に先立ち、所信の一端を述べます。

### 国、地方の財政状況

昨年度は、三位一体改革の中で地方交付税のみが先行して大幅削減された、いわゆる「地財ショック」により全国の地方自治体は財政危機に陥りました。

本町においても、10数年前から実施した公共事業に伴う起債の償還がピークのところに、地方交付税の大幅削減が重なり、一気に「財政再建団体」転落の危機に直面したことは、ご承知のとおりです。このため、全国町村会を始め、地方六団体は地方交付税の重要性・必要性を一丸となつて国等に働きかけた結果、地方交付税を含めた地方の一

般財源総額については、今年度並みの額が確保されることとなりました。

しかし、先行き不透明な国・地方の財政状況を考えたとき、単に財政再建のための一時凌ぎの「財政改革」では、この状況を打開できないことは明白です。

### 本町の財政事情と今後

今、本町がこの厳しい時代を乗り越え、地域の生き残りをかけた競争の時代を生き抜いていくためには、平成11年3月に策定した「第三次海士町総合振興計画」のキンニヤモニヤの変にある、半農半漁の生業を基盤とする経済的豊かさ、保養と癒しの場を都会の人たちに提供できる環境的豊かさ、一人ひとりが生きがいと誇り、自立心をもって暮らしていける精神的豊かさな

どを本町の目指す町づくりとして捉え、「人づくり、モノづくり、健康づくり」を3ポイントに、交流を核とした事業展開を図ることが最も重要であると考えます。



承久海道キンニヤモニヤセンター西側外観

本町の目指す町づくりは、役場職員はもとより、町民一人ひとりの意識の改革によってもたらされるものであり、依存心からくるもたれ合いや人頼みといった気風から脱却し、行政と住民が一丸となつて町の自立を目指し、共に挑戦していく心構えが必要です。モノづくりの拠点であるキンニヤモニヤセンターの産業創

出課を中心とする産業三課の動きの中で、第3セクター「株式会社ふるさと海士」がスタートしましたが、モノづくりを単に商品として捉えるだけでは、厳しい産地間競争の時代を到底勝ち抜くことはできないと考えます。

そこには本町の様々な資源を活かした海士らしい魅力づくりが強く求められており、このため、健康で豊かな人間力の育成と海士町の魅力の向上を目指す、ダイナミックなプロジェクトの編成など、新たな組織体制への変革を進めたいと考えます。

一方では、「先憂後楽」の精神に立ちかえり、まず自らの給与50%カット、助役・教育長40%カット、課長30%カット、また職員には急激なカットで大変厳しいことは承知しながらも、理解と協力を求め、他方で生活の影響への緩和策等も考慮しながら傾斜方式による最高30%カットをお願いし、3月8日付けで職員組合と確認書を交わしたところで、幸い、職員には厳しい財

政状況等を認識し、前向きな提案をいただいております。深く感謝をしております。

しかし、給与の削減もここまで来れば限界であり、いつまでもこの状態が続けば不安は増大するばかりです。

これまでも上京の度に国や県、そしてマスコミ等あらゆる方面に、小さな島の苦しい実情を訴えてきました。

幸い、平成17年度地方交付税で、人件費、物件費の経常経費削減、徴収率等の経営努力など行財政改革に対応した算定の検討がなされているようです。平成17年度も引き続き機会あるごとに強くアピールして行きたいと考えております。

このような時代こそ、先ず行政自らが苦しみ努力するのは当然ですが、町民の皆様とも危機感を共有し、時には苦しみを分かちながら、その中から生まれて来る力をバネに住民と行政が協働してこの難局を乗り越えて行かなければならないと考えます。次に各課の取り組みについて申し上げます。

**財政課関係**

地方交付税削減による財源不足対策について、予算の要求段階で、約4億円の大幅な財源不足があり、これを全て基金で賄うと基金が枯渇するという状況が発生します。予測はしていましたが、あまりにも大きな不足額であることから、従来型の査定では解消できないと判断し、経営会議に諮りながら全庁上げての見直し作業を行いました。

担当課において見直し提案を作成し、経営会議の中で調整するという方法で、繰り返し3回のローリングをかけ、徐々に不足額を縮小し、最終的には人件費等の縮減も含め、一般会計の基金の実質的な取崩しを約7千万円までに抑えた予算編成ができました。行財政改革についてはまず徹底した内部改革を先行させ、安易に住民負担や町民サービスの低下に転嫁しないという「海士町自立促進プラン」の方針に基づいた見直しを行った結果、予算査定の中で職員の間にも広く危機感を共有、自主性・主体性を強化すること

ができ、「住民あつての行政」という原点を再認識できたことは大きな成果であると考えております。

▼公共事業について

公共事業についてですが、地方交付税が削減されると起債制限比率が上昇します。ご承知のとおり、この数値が20%を超過すると事業が中止されることから、繰上償還を約1億円計上するとともに、新規の起債発行を縮小するため、公共事業では産業施策、人口施策に重点配分しつつ、雇用の影響も考慮しながら全体的な縮減を図りました。

▼人口対策

次に、人口対策についてありますが、海士町は、離島という地理的特殊性から生産年齢人口が極端に少ない人口構造上の問題を抱えています。

この問題を解決するため、産業施策、雇用施策、少子化対策を有機的に結び総合的な取り組みを実施しているところであり、しかし、現在、U・I・ターン希望者、就職希望者に対し、住宅を完全に提供出来ないのが実情です。

この10月1日にはいよいよ国勢調査が実施されますが、目標である人口26000の達成のためには、空き家など含めた住宅確保が喫緊の課題であります。住民として出郷者の一層のご協力とご理解を賜りながら、積極的な事業展開を図ってまいります。

**総務課関係**

▼情報政策

平成16年度に「e-地域ビジネス事業」を導入し、「第3セクターふるさと海士」の運営する加工場等と生産者を結ぶ「生産・流通ネットワークシステム」を構築し「情報の収集と発信」を行うことで、商品の付加価値を高め販売促進にもつながるものと期待します。

▼防災関係

消防団員の確保が難しい集落もあるため、より実効性のある非常備消防組織を確立すべく班編制の見直しを行います。

また、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づく「海士

町国民保護協議会条例」の制定につきましては、国の示したスケジュールに添って平成18年度の計画策定に向け平成17年度中に協議会条例を制定する予定です。

▼広報広聴活動

行政の情報発信の中心となる町広報「海士」も総合情報誌として定着してきており、平成16年度にはホームページに掲載することで、より多くの出郷者の方々にご覧頂いております。また、現在作成中の「海士町史・戦後編」についても平成17年度中に、まずホームページでご覧頂けるようにしたいと考えております。

**健康福祉課関係**

本町の人口が、年々減少している状況のなか、老年人口は、横ばい状態です。平成16年の出生者は僅か10名で、高齢者比率は、1月末現在 37.6%となっており、引き続き極端な少子・高齢化が顕著に表れております。

こうした状況を打開するため、昨年10月の臨時議会において、「海士町すこやか子育て支援条例」を制定いたしましたところであり、条例制定後の支給状況をみると、結婚祝い金2件、出産祝い金2件、妊娠・出産に係る交通費等助成金1件となっており（平成16年10月から平成17年3月12日現在まで）、今後の成果に期待をしております。

また、「海士町住みよいまちづくり計画策定委員会・検討委員会」で検討していた、「海士町地域福祉計画」・「海士町エンゼルプラン」・「障害者プラン」がこの3月に策定終了の予定です。今後、それぞれの計画のもと、事業を推進いたします。特にエンゼルプランでは、生み育てやすい環境



町政座談会に参加する皆さん

整備の推進を目指し、障害者プランでは障害者の自主性を基本とした施策を展開するとともに、グループホームの整備を行います。

次に、保健関係では、「第三次総合振興計画」のシンボル事業である「健康が一番事業」の更なる展開と糖尿病対策等を盛り込んだ「健康あま21推進計画」の実施により町民の健康づくりを継続していきま。特に長年取り組んできた糖尿病対策では、事業による効果が現れており、これらの評価分析結果を住民の皆様にご報告する意味で、17年度に町民向けのフォーラムを開催したいと考えています。



健康フェアで地元の食材を使った健康食を試食

### 生活環境課関係

#### ▼環境問題

「海士町環境美化条例」に基づき、住民や各種団体・事業所等と一体となって、ごみの不法投棄防止や空きかん空きビンのポイ捨て防止に積極的に取り組んで参ります。また、清掃センター、リサイクルセンター、最終処分場等の運営の効率化を図るとともに、ごみの減量化やリサイクル対策を推進します。

#### ▼簡易水道

多井・崎地区簡易水道施設の老朽化に伴う「電気施設、ろ過施設、ポンプ」等の整備を、昨年度に引き続き進めま。す。

#### ▼国民健康保険事業

健康福祉課の保健事業や健康増進事業との密接な連携のもと、医療費の抑制を図り、国保財政の健全化に努めます。

### 建設課関係

#### ▼道路整備

懸案事項であった崎方面へのバイパス道路の整備については、島根県との協議により「代行道路日須賀線道路改良

工事」が平成20年度から実施の運びとなり、本年度から町において、測量設計に着手することとしており、早期に全線の用地買収が終えるよう努めます。

#### ▼港湾事業

島民及び観光客等の海洋性レクリエーション活動の拠点として引き続き海士港先灘地区において港湾環境整備事業を実施します。

また、保々見港港湾改修事業については、既設西側防波堤を本年度完成させますが、係る財政状況を考慮した中で、今後の整備計画を立てていきます。

#### ▼漁港事業

漁港集落の生活基盤を重点に整備しており、宇受賀漁港では沖防波堤を完成させ、緑地運動広場の整備等も実施します。菱浦漁港については、集落道路2路線の整備完了の他、隠岐汽船抜港対策としての航路幅確保のための、開削工事を実施します。高石漁港につきましましては、北防波堤の新設・改良と物揚場の完成に努めます。

#### ▼下水道事業

特定環境保全公共下水道整備で中里地区・東地区の管路整備と、海士浄化センター敷地内に汚泥処理施設の整備を実施致します。また、市町村設置型合併浄化槽整備では、上方地区を重点に整備しております。今年度も15基の整備を実施

#### ▼林道事業

家督線が16年度整備完了となり、宇津屋線につきましても、平成19年度完了に努め事業を実施します。



宇津屋線（御波～知々井間）整備風景

### 産業関係

#### ▼産業施策

本町の産業施策は、自然環境と地域資源を活かすことであり、とりわけ「海」「潮風」「塩」の三つの地域資源を有効活用し、島をまるごとブランド化するという究極のふるさと振興を、島民が一体となって、自ら取り組むことを目指すことです。

まず、町再生の切り札として官民の共同出資で設立された第三セクターの新会社、「株式会社ふるさと海士」は、本町農林水産業の底上げを図るため、まさに地域自立の核として、海士町の生き残りをかけた事業展開を一体的かつ強力に推進し、島全体に広く深く連鎖する海士町産業化計画の一翼を担うものであり、行政としても強力にサポートします。

●連動する本年度の重点施策  
①商品開発

農林水産加工業を軸とした商品開発については、地域再生計画の支援や県の中山間リーディング事業を活用し、新鮮な海産物を目玉商品とした

「隠岐・海士島風便」と銘打ったCAS商品の開発をはじめ、「海士の塩」から始まる梅干しや塩辛、干物等、物語性を重視した高付加価値の産品づくりを三セクや関連団体とタイアップしながら進めま

す。また、「島まるごとを売りにする」という観点からも、地区の梅づくりの活動をヒントに、集落や特定のグループによる「ものづくり」から始まる「ものづくりへのこだわり」を着実に深めていくことで、集落から「元氣とやる気」のある人材を創り上げ、自ら行動できるリーダーの育成と活力の醸成を図ります。

②水産業の振興

水産業の振興については、CAS商品の高品質化を図るため、活魚輸送時の漁倉の改造や一時ストック場としての畜養施設等の整備を行い、安定した出荷体制を構築する計画です。

また、新たな取り組みとして、将来のCAS主力商品としての期待度の高い「海藻の養殖」についての可能性と調

査研究を開始したいと考えております。

大変厳しい、激動の競争時代に突入し、経済的な不安もありませんが、「海士の御塩司所」など、施設運営自体も重要な文化的地域資源と捉え、町全体で織りなす「海士方式地産地商」の推進を全国展開へと繋げるために、海士町の生き残りをかけた産業振興に不退転の決意で取り組みます。

「隠岐海士島風便」の通信販売用パンフレット



交流促進課関係

▼交流人口の拡大と定住対策  
昨年度採択を受けた「まちづくり交付金事業」を効率的に活用し、住環境整備の柱として東団地へ定住促進住宅を整備するとともに、町内に散在する空き家の所有者の方に「空き家リニューアル事業」や「空き家バンク事業」の活用を広く呼びかけ、住宅の確保に努めます。

▼観光振興

観光協会や地元観光関係業者との更なる連携を図り、島根県の認定を受けている隠岐観光トップブランド事業の推進、島根県やJR西日本等との連携によるアステイネーションキャンペーン等による事業の推進、更に島前3町村共催事業の「第3回とって隠岐ツアーウォーク」等の広域観光事業を実施します。

更に、本町の体験型観光事業である「吟行ツアー」「隠岐島綱引大会」「キンニヤモニヤ祭」等の継続実施や、国土交通省の所管事業である「離島交流事業」を活用した体験型観光事業を推進するとともに

に、平成18年5月就航予定の「とびうおライン」の受入れ整備に向けて、商工会・観光協会と連携を図りながらその態勢整備に努めます。

教育委員会関係

▼豊かな人間力の育成  
本町の様々な資源を活かした海士らしい魅力づくりを進めていくためには、海士の魅力を一歩ひとりが認識し、交流を通じた人間力の育成を図ることが不可欠です。

の理念を継承し、総合的に展開・推進していくために、教育委員会では、健康福祉課、財政課の3課で情報の共有化と密接な連携を図りながら、開発センターを拠点として交流を核とした事業を積極的に取り組みます。

▼学校教育関係

特に各学校で学力検査を実施すべく予算化しましたが、学力の低下が社会問題となっている現状の中で、客観的な現状分析が可能な学力検査の実施によって、本町の児童生徒の確かな学力の定着が図られるよう努めます。

海士診療所関係

町民の皆様が健康な生活をおくるための病氣治療だけでなく、健康審査や保健事業への取り組みを積極的に行い、より町民の皆様により頼りとなる充実した組織へと整備を図ります。

「第三次海士町総合振興計画」に謳われた「人づくり」「モノづくり」「健康づくり」





# 平成 17 年度町の予算

一般会計予算 37 億 6,634 万円 (対前年度比 18.99%減)  
 特別会計予算 19 億 9,119 万円 (対前年度比 8.63%減)  
**計 57 億 5,753 万円 (対前年度比 15.68%減)**

## 町の予算について

平成17年度の海士町の予算が3月議会で議決されスタートしました。今年度の予算を前年度と比較すると、一般会計は8億8,266万円、特別会計も1億8,808万円の減額となっています。今年度の予算減額の主な要因は、CASをはじめとした産業創出関連の事業完了で普通建設事業費が減少したこと、また、人件費、その他の経常経費を見直したことによるものです。

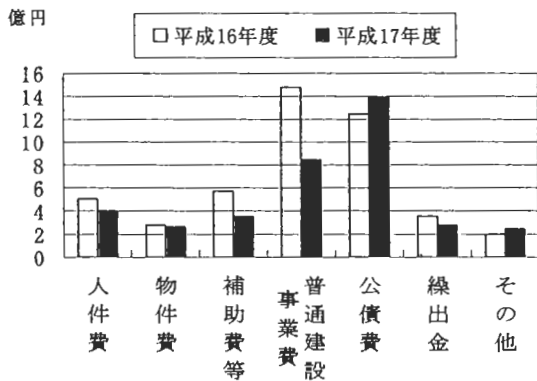
長引く不況による国の財政悪化から、地方への交付税などが大幅削減されると共に、公共事業縮小の流れが加速しており、町の経済や雇用を考慮しながら財源不足に対応する厳しい予算編成となっております。今後も、町民の皆様との危機感を共有しながら、基金(貯金)の取崩しを最小限に抑え、町の自立を推進していかねばなりません。

### 人件費の節減と給与の適正化について

財政破綻を回避するため、緊急措置として次のことを決定しています。

特別職報酬(町長)	50%カット
特別職(助役・教育長)	40%カット
議員報酬	40%カット
職員給与(管理職)	30%カット
職員給与(一般職)	16~30%カット
教育委員報酬	40%カット
区長報酬	10%カット

支出の状況



### <支出>

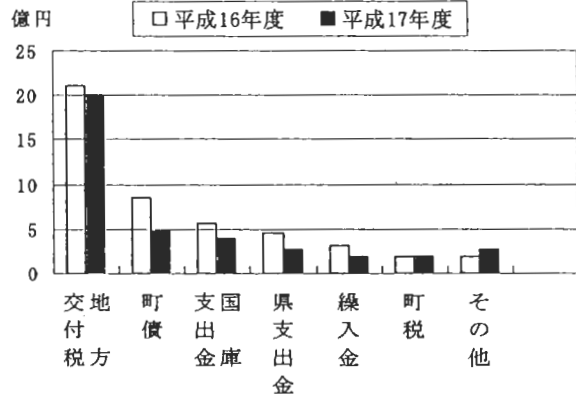
公債費の増加や地方交付税の削減に対処するため、人件費の大幅カットや、負担金・補助金、事務事業の見直しなどにより経費削減に努めていることから、前年に比べ減額となっています。また、徹底した削減をおこなっても、なお、危機的な状況を回避できない現在の財政状況の中では、大きな雇用を維持し続けている普通建設事業費も縮小を余儀なくされています。

人口施策、町内雇用の場確保は、海士町のような小さな町では、最重要施策であり、経済発展のためには欠かせないものです。21世紀も「町民が元気で、明るく、いきいきと安心して住める海士町」であり続けるため、更なる行財政改革と産業振興を図っていかねばなりません。

**普通建設事業費**：道路、漁港、港湾等の公共土木施設や学校等の文教施設、公民館、公営住宅等の公共用施設の新設、増設、改良事業等の投資的な事業費をいう。

(公共事業とは、国の補助金の交付を受けて行う補助事業のことである。)

収入の状況



### <収入>

地方交付税は、収入全体の53%を占めていますが、景気の低迷、三位一体の改革などから増収は期待できません。また、国及び県からの補助金、町債などは前年に比べると減額となっていますが、これは普通建設事業費の支出が減ったことが主な要因です。

町税収入はわずか4%であり自主財源に乏しく、国や県に大きく依存した予算となっています。

**地方交付税**：国税のうち法定5税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)をそれぞれ一定割合の額で、地方公共団体が自治体間の財政格差を埋め、一律な公共サービスの提供を確保するため、国税の一部を交付する税(資金)をいう。

**基金**：町の貯金。財政調整基金、減債基金、そして目的ごとに積み立てた貯金などの合計額。

# 予算の主な使い道 (一般会計)

## 議会・総務費 5億4,651万円 ～行政サービスと定住対策を～

議会費	4,055万円
空き家活用助成事業	1,500万円
定住促進住宅整備事業	8,000万円
離島交流事業費	5,130万円
生活路線バス補助金	3,202万円
島前内航船運航負担金	2,864万円
老朽住宅除去工事	200万円
住基ネットワーク費	137万円
サイン整備事業	1,403万円
街並み整備事業	1,453万円
地籍調査委託料	537万円
電子計算費	1,617万円

## 民生・衛生費 6億8,947万円 ～福祉・健康そして環境を～

社協運営費補助金	1,333万円
老人ホーム入所措置費	3,807万円
児童福祉費	9,201万円
在宅介護支援センター委託費	493万円
居住施設事業運営費委託料	1,320万円
広域連合(島前病院分)負担金	676万円
生きがい活動支援通所事業委託料	504万円
老人保健事業	1,109万円
保健センター健康増進部門委託料	1,103万円
斎場運営費	408万円
清掃センター運営費	4,162万円
リサイクルセンター運営費	1,448万円

## 農林水産業・商工費 7億0,416万円 ～生産性豊かな暮らしを～

県営中山間地域総合整備事業負担金	1,000万円
新開農道整備事業	2,030万円
隠岐島前森林復興公社	544万円
林道宇津屋線開設事業	3,848万円
高石漁港地域水産物供給整備事業	7,000万円
菱浦漁港水産物供給基盤整備事業	1億円
菱浦漁港漁業集落環境整備事業	3,000万円
宇受賀漁港漁村づくり総合整備事業	7,000万円
漁業経営安定構造改善事業	7,500万円
観光費	2,217万円
キンチャモニャセンター管理費	1,109万円
特産品開発事業費	1,664万円
飼料基盤活用促進事業	3,769万円
県営ふるさと農道整備事業負担金	3,000万円

## 土木費・消防費 2億8,853万円 ～快適な暮らしと安全を～

先灘地区海岸環境整備事業	1億円
保々見港改修工事	1,000万円
県道整備事業(海士島線)負担金	600万円
日須賀・崎線バイパス整備事業	6,000万円
町道維持補修費	747万円
急傾斜地崩壊対策事業	533万円
常備消防(運営費)負担金	6,899万円

## その他の歳出 13億9,352万円

労働費	7万円
公債費	13億8,702万円
諸支出金	43万円
予備費	600万円

## 教育費 1億4,415万円 ～自立する人間性豊かな人づくりを～

小学校費	2,137万円
中学校費	1,726万円
外国青年招致事業	488万円
公民館事業費	260万円
学校給食費	3,254万円
通学バス運行費	998万円
保健体育費	232万円

## 特別会計 19億9,119万円

国保事業勘定特別会計	3億0,529万円	老人保健特別会計	4億3,558万円
国保診療施設勘定特別会計	3億2,103万円	下水道特別会計	7億0,043万円
国保歯科診療施設特別会計	4,332万円	簡易水道特別会計	1億8,554万円

～限られた財源を有効に活用し、最小の経費で最大の効果を上げるよう、予算の適正な執行に努めていきます～

～地域の自立と発展をめざして～

「海士の心と文化・海士の息吹」を伝承!

4月17日

5月1日

# 海士御塩司所・C A S凍結センター竣工



C A S凍結センターの外観 建築面積 891.67 m<sup>2</sup>



天然塩製造所の火入れ式では白装束に身を包み釜の薪に火をつける職員

5月1日には、海士港に本町の自立促進の核施設として昨年9月より着工していた農林水産物加工施設「C A S凍結センター」が総工費4億1,450万円（国費2億727万円）を投じて完成し、県、地元関係者70名が出席してその竣工を祝いました。

安全祈願の後、地元若手漁師の皆さんの漁船海上パレードがあり、早朝に漁獲した鯛をC A Sで凍結する「C A S入れ」の儀式が行われました。このC A S凍結システムは、

4月17日、天然塩製造所海士御塩司所が保々見港（岩がき作業所の手前）に竣工しました。総工費9、150万円で木造3棟（濃縮棟、天日干棟、せんごう作業棟）が建設され、生産能力は年間60トン（月産5トン）となっています。この施設は単に塩を製造する施設としてだけでなく、「海」「潮風」「塩」をキーワードに、海士町総合振興計画の基本理念に基づいた、海士らしい人づくり、モノづくり、健康づくりによる地域の自立

とれたての農水産物を鮮度を保った状態で保存できる画期的な凍結システムで、これによつて離島のハンデイも克服され、島の旬をまるごと大消費地に送り出すことが可能となり、町の新たな産業として成長することへの期待が大きくなり膨らみます。

また、午後からは「海士ノ塩」を隠岐神社へ奉納する初塩奉納の儀が行われました。役場から隠岐神社までの道程を、崎だんじりの伊勢音頭を唄いながら「初塩」を運ぶ奉

を目指す地域資源活用核施設として捉え、食の原点を追求しながら「海士ノ塩」でつくめる梅干しを筆頭に塩辛や干物、漬け物、伝統料理に至るまで「海士ノ塩」から始まる「ものづくりへのこだわり」を町民こそ取り組んでいける環境を醸成しようとするものであり、そこから地場資源を有効活用して高付加価値商品を生みだし、収益確保を図りながら就業の場づくりを進めようとするものです。

また、ふるさと教育や都市



雨の中、役場前から隠岐神社へ初塩の奉納行列をする様子

納行列が行われ、あいにくの雨天にもかかわらず、多くの町民の皆さまに見守られながら厳粛に執り行われました。



完成した海士御塩司所の全景

住民との交流を図る体験学習の施設としての活用も期待されています。



# 第20回隠岐島綱引大会



優勝！ 宇受賀ヤッターマン 東さわやか



一勝めざして頑張るALIT 美人・馬力の皆さん ゴー・ゴー・ファイト！



小学生の部で優勝したひっばれ海士小少年団 意気もびつたり。

## 桜花爛漫

### 一本の綱に託す力と汗！

4月10日、第20回を迎えた隠岐島綱引大会（主催：海士ござらつ祭実行委員会）が隠岐神社外苑において行われました。

参加チーム数は、一般の部に男女合わせて24チームと小学生の部5チームが出場。総勢300名余りの選手が参加し満開の桜の下で熱気溢れる勝負を繰り広げました。

この大会に20回連続出場を果たした「宇受賀ヤッターマン」「御波アルチユーズ」「崎だんじり」「諏訪軍団」に対して、強固な団結力に敬意を表し表彰状が贈られました。

また、国際色豊かに島根県に滞在するALIT（英語指導助手）が男女ともに参加し、「豪快な引き」合いを見せるなど大会を盛り上げていただきました。来年もまたさらにパワーアップした皆さんの参加と、多くの人たちの交流が深まることを期待します。

## ◆◆◆大会結果◆◆◆

### ＊男子の部

- 1位 宇受賀ヤッターマン
- 2位 東魂伝承HIGASHI
- 3位 菱浦よしひくぞーTYPE B

### ＊女子の部

- 1位 東さわやか
- 2位 隠岐島前高校
- 3位 海士セレ・ブス

### ＊小学生の部

- 1位 ひっばれ海士小少年団
- 2位 福井つなひき丸
- 3位 海士小つなひき団



健闘する福井JPN宮田男子ングススペシャル

# 海士町住みよいまちづくり計画を策定しました！

—平成17年度から平成21年度までの5か年を実施期間とします—

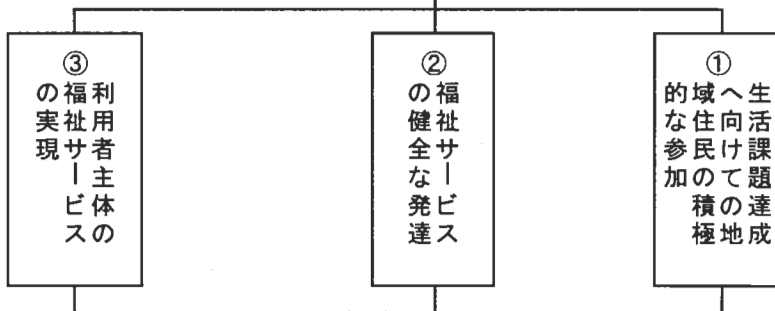
誰もが地域社会へ参加し、「共に支え、共に生きる福祉社会」をめざした「地域福祉計画」、少子化対策で地域の崩壊を防ぐための最重要課題として、一人でも多くの子どもが健やかに生まれ、育つための体系的施策を展開する「エンゼルプラン」、障害者の自己決定を重視しながら、多様なニーズに対応するため、21世紀の新しい障害者福祉の確立を目指した「障害者プラン」をそれぞれ策定しましたのでお知らせします。

## 海士町地域福祉計画

この計画は社会福祉法という法律に基づいて、各地方自治体が策定するものです。わたしたちが住む海士町が、こうあってほしいという夢や希望、提案などを出しながら推進していく計画です。

### 顔の見える地域づくり・人づくり

#### 基本的視点



#### 具体的な施策方向

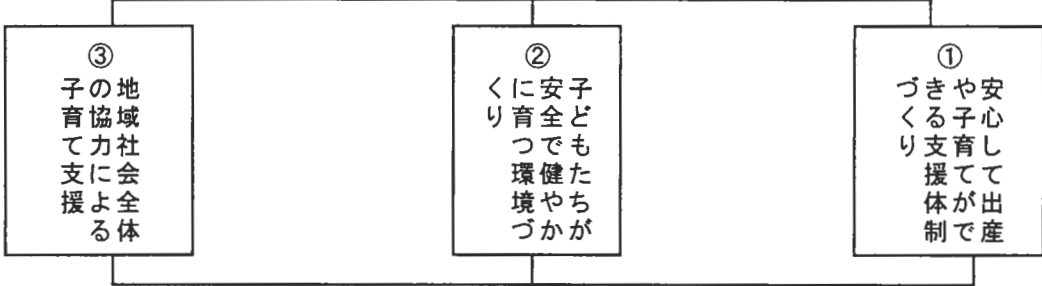
- 1 生きがいづくりへの支援
  - 一人ひとりにあったスポーツ、娯楽、もの作りなど多様化していく生きがいづくりを支援します。
- 2 人づくりへの支援
  - 住民自らが生きがいを持ち社会参加できるよう、老人クラブを始めとして各種組織、団体活動を支援します。また、人材育成のための研修、講演会を開催します。
- 3 福祉活動の推進
  - ボランティア団体などの福祉団体や小地域等の地域組織の活動を推進します。
- 4 総合的な相談・支援体制の確立
  - 町内の相談窓口については、どこへ行っても入りやすい雰囲気づくりをするなど、相談しやすい体制づくりを目指します。
- 5 利用者主体のケアシステム
  - ネットワーク（地域ケア会議）を強化し、安心して生活できる町を目指します。
- 6 福祉サービスの情報提供体制の構築
  - 町ホームページなどを使った情報提供、福祉サービス事業者からの情報提供や事業者間での情報交換、連絡調整を図ります。
- 7 地域住民の人権意識の向上
- 8 地域と学校との連携
- 9 地域福祉を担う人材の養成
  - 関係職員の専門性の向上、地域における人材の育成を図ります。
- 10 社会福祉協議会との連携による事業の推進
  - 地域福祉サービス提供における柔軟性が発揮できるよう連携し、事業の推進に努めます。

# 海士町エンゼルプラン

この計画は、平成10年に策定したプランを見直し、これからの子育て支援施策の方向性や目標を総合的に定めたものです。今回は、子どもを育てやすい環境の体制づくりだけでなく、出生数の増加を図るための経済的支援を重視し、少子化ひいては地域の崩壊を防ぐことも意識したものになっています。

## 海士まるごと家族、天使のほほえみ、みんなのほほえみ

### 基本的視点



### 具体的な施策方向

- 1 出合いの環境づくり
  - 若者ネットワークづくり (青年教育の充実・若者交流事業などの実施)
- 2 地域における子育ての支援
  - 保育体制の充実 (保育園の統合整備)
  - 子育て支援センターの設置・地域ネットワークづくり (学校と地域社会の連携強化)
  - 児童虐待防止対策の充実 (関係機関とのネットワークの構築)
  - 里親制度の積極的な導入
  - 漁村留学の導入
- 3 母子保健対策の充実
  - 安心して出産できる環境整備 (妊婦健診が受診しやすい体制などの充実)
  - 小児期からの健康管理の充実 (健康診査や相談体制の充実、障害児への支援など)
  - 思春期における保健指導の充実 (正しい知識の普及啓発・連携のもと命の教育の充実)
  - 食育関連の事業強化 (年齢に応じた取り組みや食体験の場の設定)
- 4 子どもへの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備
  - 保護者の学習機会や相談体制の充実 (家庭教育講座の開催・すくすくクラブなどを継続実施)
  - 体力向上に向けた取り組みの推進 (スポーツクラブへの支援・運動教室などの開催)
  - 地域活動の充実 (子ども会・母親クラブの支援)
  - 自然、歴史、文化、人にふれあう機会の充実 (キャンプ・世代間交流などの実施)
  - 住民に対しての意識啓発 (「地域の子どもは、地域で育む」という気運の醸成)
- 5 子育てを支援する生活環境の整備
  - 住居の確保 (二つの小学校の児童数を考慮した町営住宅の建設)
  - 子どもと子育てにやさしいまちづくり (安全安心の道路づくり、安全教育の推進、危険箇所点検・改善、環境美化の取組)
- 6 職業生活と家庭生活の両立支援
  - 安心して子育てできる雇用環境の整備 (育児休業制度などの各種支援制度の普及)
  - 多様なニーズに対応した子育て環境の整備 (放課後児童対策の充実・病後児保育・一時保育・休日保育・延長保育の実施)
  - 子育てに対する理解の促進 (学習機会の提供)
- 7 経済的支援の拡充
  - 結婚祝い金交付事業
  - 出産祝い金交付事業
  - 妊婦健診・里帰り出産・不妊治療に係る交通費の助成
  - 保育料の軽減・チャイルドシート購入費の助成

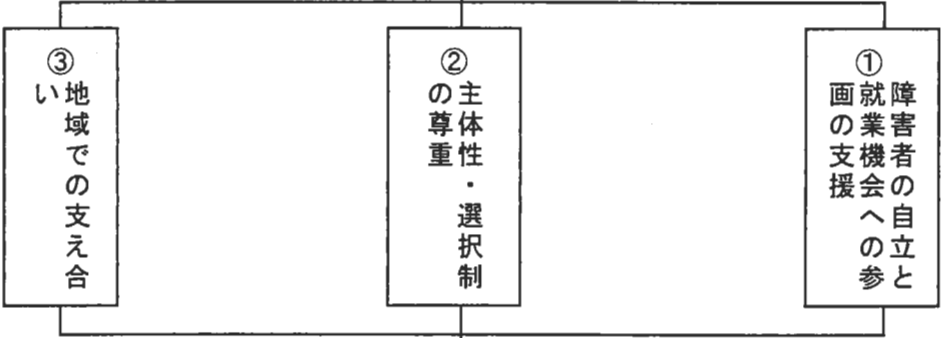
# 海士町障害者プラン

平成10年に多様化するニーズに応えるために障害者プランを策定し、推進してきました。その後、国においては、利用者の立場に立った障害者福祉制度を構築するために「措置制度」から「支援費制度」に移行し、市町村の責任を明確にしました。

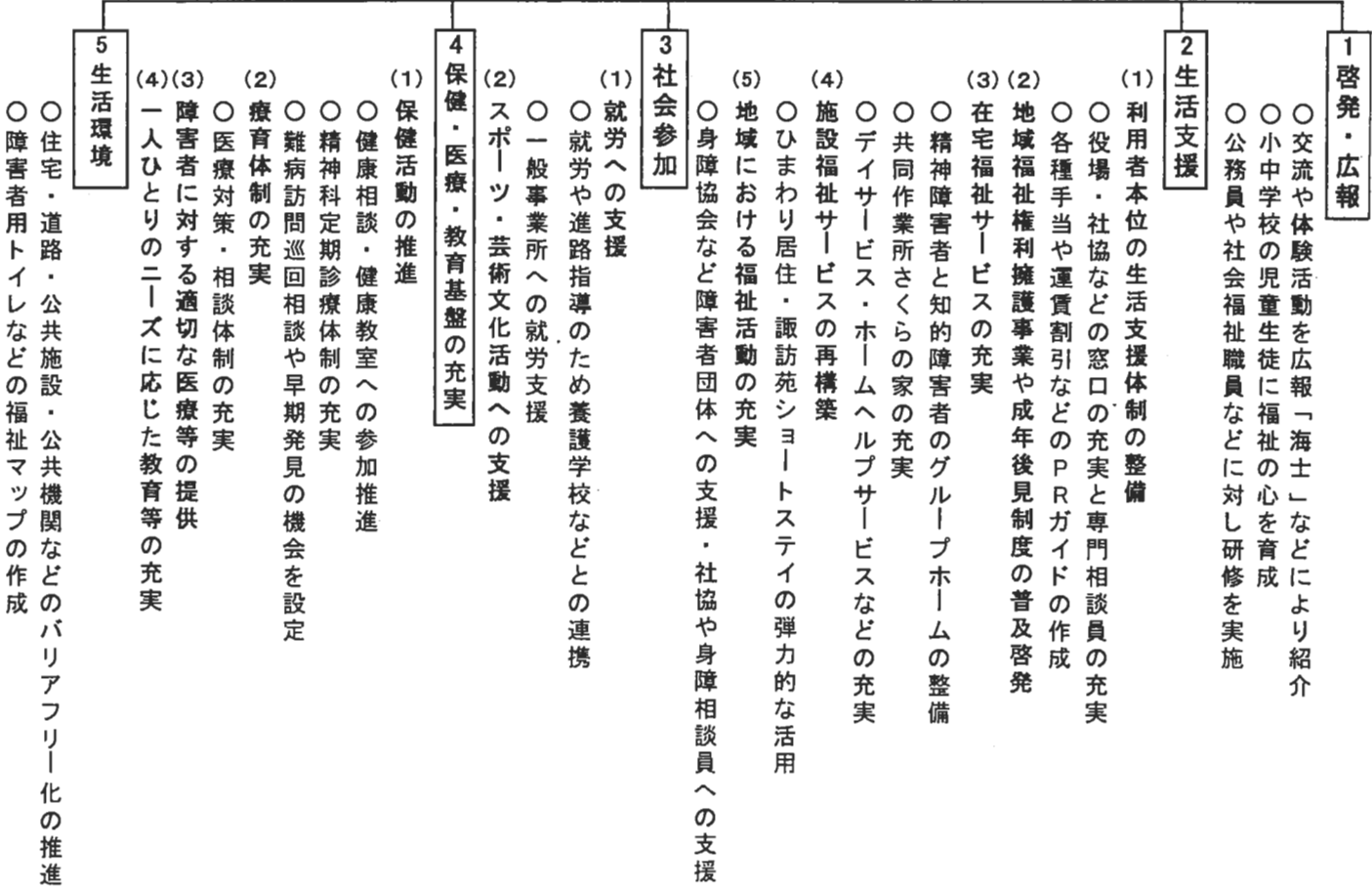
この計画は、共に支えあう地域社会の中で障害のある人、ない人誰もが海士町で生きがいを持ちながら安心して暮らすことができ、自分らしい生活ができる社会を創ることを基本理念とします。

ひとりひとりが夢をもち、自分らしさが生きるまち

## 基本的視点



## 具体的な施策方向



# 標準小作料（据え置き）・農作業標準作業賃金及び 農作業標準請負料金の一部が改訂されました。

標準小作料制度は、昭和45年の農地法改正の時に統制小作料に代わって創設されました。  
標準小作料制度の下では、小作料は原則的には当事者で自由に契約することができます。

そこで、契約小作料の目安となる標準小作料を示すことにより貸し手、借り手双方が納得できる適正な水準の小作料契約が結ばれることを目的として標準小作料を定めています。農作業標準賃金及び標準請負料も同様な考え方です。

## 標準小作料

(10a 当たり/円)

区 分	改訂前 (H14.4.1)	今回検討後(17.4.1)
上 田	12,000	12,000
中 田	8,000	8,000
下 田	4,000	4,000

(注)

適用期間は、原則3年間とする。  
ただし、毎年1回、役員会を開催し米価等の変動による影響を考慮の上改訂の必要のあるときは全体会議で協議し決定する。

海士町農作業標準賃金及び農作業標準請負料金比較表

区 分	作 業 種 類	単 位	料 金		備 考
			現 行 (H10. 4. 1)	改 訂 (H17. 4. 1)	
耕 起	荒 起	10a	7,000	7,000	
	碎 土	10a	7,000	7,000	
	代かき	10a	7,000	7,000	
	荒起～代かき	10a	20,000	20,000	一貫作業
育 苗	硬化苗	1箱	900	900	20箱/10a、種子代含む 委託者運搬は50円引く
機械田植え	機械田植	10a	7,000	7,000	田植作業のみ、箱運搬除く 角植除く
稲 刈	バインダー	10a	9,000	9,000	結束ヒモ、枕地、角刈り は委託者
	コンバイン	10a	16,000	16,000	※角刈りは委託者 稲わら結束の場合2,000円増
乾 燥	籾水分 22%以下	10a	9,000	9,000	
	籾水分 22～24%	10a	9,500	9,500	
	籾水分 24%以上	10a	10,000	10,000	
稲刈～乾燥	一貫作業	10a	25,000	25,000	※水田の条件により、金額を上下する事もある ※角刈りは委託者 稲わら結束の場合2,000円増
稲わら	一 束	10疋	50	50	
脱 穀	脱 穀	30kg	700	700	
加工料金	籾 摺	30kg	500	500	
	精 米	30kg	700	700	
農作業労賃	男 子	1日	10,000	※7,000	
	女 子	1日	7,000	(一般作業)	

平成17年4月1日から改訂まで

海士町農作業賃金改定協議会

海 士 町 農 業 委 員 会



# 海士町公共事業発注計画の公表について

平成17年度より海士町が発注する公共事業の発注計画を公表いたします。(工事費500万円以上のもの)

工 事 名	施工場所	発注予定時期	主 要 工 事 内 容
保々見港港湾施設改良工事	保々見地内	8月上旬	西防波堤改良
海士港先灘地区港湾環境整備工事	菱浦地内	7月上旬	突堤 L=52m、潜堤 L=53m
宇受賀漁港漁村づくり総合整備工事	宇受賀地内	7月下旬	消波ブロック製作設置
宇受賀漁港漁村づくり総合整備工事	宇受賀地内	7月下旬	緑地公園
高石漁港地域水産物供給基盤整備工事	東地内	7月下旬	防波堤 L=30m、物揚場 L=20m
菱浦漁港漁業集落環境整備工事	菱浦地内	8月上旬	4号、5号集落道
菱浦漁港地域水産物供給基盤整備工事	菱浦地内	5月下旬	測量設計
特環 下水道管渠布設工事(東)	東地内	4月下旬	150mm管 L=500m
特環 下水道管渠布設工事(東)	東地内	11月中旬	150mm管 L=800m
特環 下水道管渠布設工事(中里)	中里地内	6月下旬	150mm管 L=1,200m
特環 汚泥処理施設工事委託	浄化センター	6月下旬	ミックス事業
特環 管渠設計業務委託	東地内	6月下旬	下水道 管渠測量設計
浄化槽整備事業	上方地区	10月下旬	合併浄化槽設置工事 20基
林道開設事業 宇津屋線	御波地内	7月上旬	L=200m 土工 排水工 路盤工 法面保護工
日須賀崎線バイパス事業	日須賀	7月上旬	道路測量設計
特環 中里地区単独管渠布設工事	中里地内	11月中旬	150mm L=300m
宅内排水工事	海士方地内	11月中旬	公共施設関係
グループホーム整備事業	北分地内	未定	居住4名定員
飼料基盤活用促進事業	町内	8月	草地改良整備、放牧用林地整備、隔障物整備
CAS保管施設整備事業	CAS凍結センター	8月	調和振動保管庫 1基 保管倉庫施設改修 一式
活イカ供給システム構築事業	CAS凍結センター	6月	陸上水槽(2t型)5基 海水ポンプ3基 他

この日は1個の空きカンか  
空きビンを探いましょう。  
拾った空きカン空きビンは、  
この日だけ設置する専用の回  
収かご(設置場所は防災無線  
でお知らせします。)に入れる  
か、家庭のリサイクルゴミと  
して出してください。

子どもたちの悲しんでい  
ます、怒っています、不思議  
かっています。なぜ、大人は  
ポイ捨てをするんだらう、と。  
海士町環境美化推進対策会  
議では、不法投棄をなくす取  
り組みの一環として、ポイ捨  
て問題について家族や職場で  
話し合ってもらったり、ポイ  
捨てされた空きカン空きビン  
を拾ってもらったりする、「ゴ  
ミを拾おうデー」を毎月1日  
に設定しました。(この取り組  
みは、子ども議会でも小学生か  
ら提案されたものです。)

子どもたちの  
横断にはる大人は！

捨てるなあなたの心。無くすな、子どもの信頼

毎月1日は「ゴミを拾おうデー」

皆様のご協力をお願いしま  
す。



後を絶たないポイ捨ての現状



環境美化パトロールをする推進員さん

# 隠岐島前高校だより

## 「真理・理想・進取」のもと誇りと自覚を!

4月9日、平成17年度入学式が本校体育館で挙行されました。山内海士町長様をはじめ多数のご来賓の臨席を賜り、41名の新入生諸君が期待と希望に胸をふくらませて入学しました。「本校の校訓『真理・理想・進取』のもと、誇りと自覚をもって高校生活に取り組んでほしい。そして主体的に学ぶとともに、多くの友と出会い切磋琢磨してほしい。」との校長の言葉を、若く

はつらつとした新入生たちはしっかりと胸に刻んでいました。新入生を迎え入れた島前高は活気に満ちています。今後とも引き続きより質の高い教育をめざして全力を挙げていこうと考えておりますので、保護者の皆様、地域の皆様方もどうかご協力をよろしくお願

望に胸をふくらませて入学しました。「本校の校訓『真理・理想・進取』のもと、誇りと自覚をもって高校生活に取り組んでほしい。そして主体的に学ぶとともに、多くの友と出会い切磋琢磨してほしい。」との校長の言葉を、若く

望に胸をふくらませて入学しました。「本校の校訓『真理・理想・進取』のもと、誇りと自覚をもって高校生活に取り組んでほしい。そして主体的に学ぶとともに、多くの友と出会い切磋琢磨してほしい。」との校長の言葉を、若く



デリックベグリー先生の「外国人の新鮮な目で海士を見て」

## フレッシュ・アイズ・オン・あま Vol.5

私たち家族が海士で生活するのにも、残りわずかとなりました。(7月には帰国します。)

て、しかもおいしい。子供たちはとても愛され支えられながら各々の個性を伸ばしていきます。

海士での生活がこんなにも思い出多いものとなったのは、多くの地元の皆さんのおかげであり、とても感謝しております。中でも、保育園の子供たちと、そこで働く素晴らしい教職員の皆さんには、きちんとお礼を言わなくてはなりません。

カナダでこのような保育園に入れようと思ったら、大変にお金がかかり、とても無理な話です。こんなに素晴らしい海士の保育園は最高です。自慢の息子(アンガス)を、元気で思いやりのある子に育てようとしている私たち夫婦ですが、保育園の皆さんに、父親として感謝申し上げます。スタッフの皆さん、あなた方をさせていただきます!

私にとって、保育園に行つて子供たちにいろいろ教えたもてたのは、とても幸運なことでした。

話は変わりますが、私の家の庭にある大きな緑色のトラポリンをご存知でしょうか。いつでも自由に使っていたので結構なので、子供たちを連れて遊びにきてください。ものすごく楽しいですよ。どなたでも大歓迎なので、ぜひ遊びに来てください!

教職員の皆さんの子供たちへの心配りや愛と教育の心をもつて子供たちに接している姿をみて、訪れる度に、いつも感銘を受けていました。先生方はいつも一生懸命働いていて、保育園での活動に子供たちが興味を持てるようにいつも苦心されています。給食は栄養に配慮されてい

話が変わりますが、私の家の庭にある大きな緑色のトラポリンをご存知でしょうか。いつでも自由に使っていたので結構なので、子供たちを連れて遊びにきてください。ものすごく楽しいですよ。どなたでも大歓迎なので、ぜひ遊びに来てください!

## 第28回関東海士後鳥羽会 開催のご案内

関東在住の海士出身者が年に一度集う郷土の会が28回を迎えます。

海士からの参加者は、各テーブルに分かれ、故郷の現状を伝えてくれます。全出席者によるカラオケ、キンニヤモニヤ、盆踊り等の余興もありません。皆様のご参加をお待ちしております。

しかし、ご案内しても、転居先不明で返ってくるものが多くなりました。関東在住の方で転居された方、新たに関東に来られた方は、古谷までご連絡下さいますようお願い致します。

### ご案内

日時：平成17年6月5日(日)  
午前11:30～午後3:00  
場所：ホテル海洋(大久保駅前)  
会費：男性 10,000円  
女性 8,000円  
ご夫婦 16,000円  
学生、80才以上：5,000円

お問い合わせ先：古谷修一  
八王子市北野台4の16の6  
0426-35-6878

# 議会だより

## 新正副議長決まる

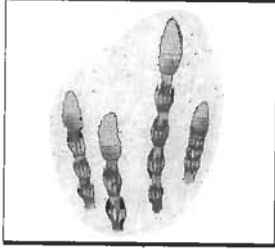
議長 古濱 正之さん  
副議長 中村 等光さん

5月10日、臨時議会において就任されました。

### ★自治功労者表彰

古濱正之さんが島根県町村議会議長より勤続25年以上在職したことにより長期特別表彰を受賞されました。

## 3月定例会



第443回定例会が3月10日に招集され、9日間の会期日程で開会されました。

まず、平成16年度補正予算7案件、その他6案件、専決処分の承認1件が上程され、慎重に審議した結果いずれも

可決されました。

また、平成17年度当初予算7案件、条例制定4案件、条例改正7案件、陳情2件が上程され、町長の所信表明並びに提案理由の説明等がありました。慎重審議の結果いずれも可決されました。

そして、一般質問に、7名の議員が登壇し町長に所信を問いました。上程された主な内容は次のとおりです。

### 補正予算

- 一般会計補正予算 (△ 33,000 円減額)  
予算総額 49 億 6,395 万 1 千円となる
- 特別会計補正予算 (△ 5,137 万 7 千円減額)  
予算総額 20 億 8,847 万 4 千円となる

### 当初予算

- 一般会計予算 37 億 6,634 万 4 千円
- 特別会計予算 19 億 9,118 万 9 千円

### 条例制定

●CAS施設の設置及び管理

に関する条例制定について他3件

### 条例改正

●条例の一部を改正する条例について他6件

町の厳しい財政状況を踏まえ、町長の給料月額を現在の30%削減から50%削減に、助役の給料月額を現在の20%削減から40%削減に、教育長の給料月額を現在の20%削減から40%削減にそれぞれ改正する等。

### 陳情2件

●「人権侵害の救済に関する法律」の早期制定を求める意見書提出について

(陳情者) 部落解放・人権政策確立要求島根県実行委員会 代表者 窪田 享信

(審議結果) 継続審議

●「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書提出について

(陳情者) 日本国家公務員労働口 土郎  
(審議結果) 不採択

### 人事案件

●海士町教育委員会委員の任命について

海士町教育委員会委員に田口 耕さん(菱浦)が承

認されました。(期間：平成17年4月1日～平成21年3月31日まで)

### 議員発議

●議会議員の報酬及び費用弁償の額の特例に関する条例についてを上程しました。

町の厳しい財政状況の中で、行政経費の削減を図るために、議会議員自らも報酬月額を現在の20%削減額から40%削減に改正する。

## 一般質問



仁田 收 議員

◆日須賀・崎線迂回道路について、国、県も財政状況の悪化、公共事業の縮小、交付金の削除等により永久に崎、多井は見離されたかと気落ちしていたが、今年度の予算に調査費として計上され地域あげて感謝しているが、今までの

経過を含め今後の取り組みについてお聞きしたい。  
町 長

17年度から、町が県の代行事業として設計から土地の買収等を行い、17年度にとりあえず6、000万円を計上している。今後、測量・調査・設計等を実施し、19年度末には用地買収を完全に済ませ、20年度から島根県が工事着手出来るよう、努めて参りたい。

◆給与減による効果について  
三役・職員・議会とそれぞれ給与カットを県内の町村に先んじて自助努力をしてまもなく一年になる。再建団体に落ち込まないように新規事業もレールにのり前に進むだけ一生懸命ですが、具体的効果ができつつあることがあれば伺いたい。  
町 長

人件費削減による効果額については、15年度との比較で見ると特別職、約5百万円、一般職は人員削減も含めて約1億円、議会議員は約3百万円となっている。更に、平成17年度については特別職、一般職共に更に追加して削減

を実施したところだが、その効果は総額で約1億4千450万円を見込んでいる。また、16年度の退職者は9名で、採用は3名に止め、極力人件費の抑制に努めている。こうした内部改革を先行することで、町民の皆様のご理解を求め、町民一丸となって「まちづくり」に取り組み気運を醸成したい。



柏原 広行 議員

◆株式会社「ふるさと海士」の事業計画について  
 定款に定める事業計画として、農林水産物の製造・販売、塩の精製及び販売、土産品の販売等々上げているが、これに係る計画がどの様にできているのか伺いたい。

町長  
 第一点はこの会社は、C A S施設を中心とした農林水産物の加工品の製造・販売、第

二点は「海士の御塩司所」から生産される天然塩を使った「塩辛」、「梅干し」また「干物」等を含める、農産物の提供によってキンニャモニャセクターを「ふるさと海士」の事業部として新年度から取り入れており、そういうものを当面は主体としてブランド化していくことである。究極のふるさとづくりを成し遂げるためにはものづくりからスタートする町づくり、だからこそ官民の垣根を越えた、いわゆる第三セクターとしての重要な使命があると思っ

この「ふるさと海士」の事業計画というのは、取締役会等で議決されているのか伺いたい。

町長  
 協同組合等の定時総会と違って株式会社と言うのは、決算がでて初めて決算報告という形に。事業計画については、方針を株主の皆さんに示すものであって、数字を羅列して事業計画をお示しすることになっていない。決算に対する説明責任は、株式会社は

当然負うものと思っ

第三セクターの90%の株を町が所有しているが、町が所有するということは当然のこととして町民も相応の権利を有するわけであり、このことについては情報開示というのは一般の企業と違ってあると思うが、この点について伺いたい。

町長  
 当然決算報告として広報等に載せることに定款ではなっている。情報開示は当然としていくものと考えている。

定款によると、会長1名・社長・取締役・監査役等々がおられるが、組織はどういう状態であるのか。

町長  
 はつきり言っ

ころまでまだ至っていないが、責任体制というものは明確にしている。ある日突然行政が放すということは、物理的にも困難であり、また行政は仕掛けるだけの行政であって、ならないと思っ

の配置等も内示を持って、ある程度はつきりさせたいと思っ

がそのようなシフトをしていく。

◆活性化基金の現在の運営状況と今後の見通しについて伺いたい。

町長  
 16年度の支給対象者は、8名であり、年間所要額は1千875万円となっている。大幅に増えている。これまでの積立額があったため町の250万円と職員の拠出金のみで賄っている。給与カットもこれが限界でありこれ以上負担を強いることは許されない。将来の退職者は予想できない。



高松 照佳 議員

◆新エネルギービジョン策定の進捗状況について  
 地球温暖化や、エネルギーの枯渇問題の解決策のひとつとして、海士町地域新エネルギービジョンの策定に向けて、先進地の施設の見学会やアン

ケート調査等を行っているが現在までの進捗状況について町長に伺いたい。

町長  
 平成16年の8月10日に委員15名で構成する第1回の策定委員会を開催し、現在まで4回程策定委員会を開催している。約5ヶ月で海士町地域新エネルギービジョンの報告書のとりまとめを行って、最終段階に入っている。4月には本ビジョンの概要を全戸に配布する予定である。

◆県営ふるさと農道（西く御波）整備事業の進捗状況について伺いたい。

町長  
 現在、西区の方から隧道工事用のパイロット道路整備のための、工事を実施中であり隧道の工事発注の予定は、6月県議会の承認を得て正式な契約が成立するので、それ以降本格的な工事が行われる見込みであり、工事は完了は平成19年度を予定している。

◆海士町地域福祉計画・エンゼルプラン・障害者プラン等について計画策定委員会、検討委員会で現在までどの様に

検討されているか伺いたい。

町長 策定委員会は2回、検討委員会の地域福祉部会を3回、エンゼルプラン部会を8回、障害者プラン部会を8回、開催。その結果、各検討委員会委員により、策定委員会を開催し、各プランの案を提示。

地域福祉計画は、海士町の地域はこうあってほしいという方向性を重視した計画であり、エンゼルプランは、「子育てすこやか条例」の経済的支援だけでなく、出会いの場づくりから育てやすい環境づくりまでの計画となっている。そして、障害者プランは、障害者自身がまず自主性をもつことから施策の事業展開をする位置づけとした計画で、今後5年間は、この計画のもとに推進することとなっている。



古濱 正之 議員

◆福祉医療費助成制度について

て

県は、深刻な財政危機などを背景に、重度心身障害者や母子家庭などの医療費補助を、これまでの5000円を自己負担を原則とする方針を見直し、20歳未満の障害者や低所得者に定額負担の上限を設ける以外は、一割負担を求めようだが、本町独自の幅な負担増で済むような補助と要望するが、町長の考えを伺いたい。

町長

この制度は、身体障害者手帳1、2級の方や非課税の母子家庭の方々が対象。町独自の上乗せ補助という方法もあるが、低所得者に対する配慮もあることから島根県の打ち出した見直し案に沿った対応を考えている。しかし、その推移を見極め、町独自の補助が必要であれば対応を考えていく。

◆地球温暖化防止対策について本町の取り組み温暖化防止対策の概要を伺いたい。

町長

地球温暖化防止対策については、新エネルギー導入に向

けて官民一体となった取り組みが必要である。費用面等の問題も出てくるが実施にあつては住民とも意識合わせが不可欠となっている。決して行政の押しつけ、これはゴミとか環境問題も一緒に意識の問題もある。具体的にはタクシーのディーゼルエンジンがなくなるといふようなことも言われ、本町でもそのような動きがあるようだ。

◆教育特区導入について

義務教育の「6、3制」から構造改革特区により規制緩和がなされ、各教育委員会独自の制度が認められるところだが、本町においても何らかの独自制のある制度を導入し「学力低下」の危機感から脱皮を望むが教委の考えをお聞きしたい。

教育長

3月8日の定例教育委員会の中で、教育特区について協議したが、規制緩和の懸案事項が、現時点では見出せない中でその必要性は考慮されなかった。しかし、本町の学校での少人数学級の利点として、その利点を生かした教育効果を期待するところである。



中村 等光議員

◆職員の早期退職について

ベテラン職員が早期退職する事は海士町にとって大きな損出ではないか。また、早期退職者に支給される活性化基金は今後どのようになるのか伺いたい。

町長

活性化基金設置の趣旨に賛同し、自ら身を退く決意をしたわけだが、その意志に因應するためにも職員と共に一丸となってこの難局に立ち向かう覚悟である。また、活性化基金の状況については、今以上の負担を職員に強いることなく町が責任を持って制度の維持に努めたいと考えている。

◆海士町の職員に対する各種手当ではどのような手当があるのか。また、「わたり」制度の今後の考えを伺いたい。

町長

諸手当は、現在20数種類に

分かれている。そしてこれらをその性格によって分類すると、生活補助給の手当（扶養手当、住居手当等）、地域給の手当（調整手当等）、職務の特殊性に基づく手当（特殊勤務手当等）、時間外勤務等特別の勤務に対して支給される手当（超過勤務手当等）、賞与に相当する手当（期末・勤勉手当等）、その他に大別することができ。また、わたり制度については、即廃止する考えは今のところない。

◆金光寺山の展望は、改善され以前よりは良くなったが更なる環境整備が必要ではないか。また、頂上にある青年の家も対応する必要があるのではないかと伺いたい。

町長

山頂付近の雑木等の整備計画だが、駐車場から山頂にかけての東集落側の斜面を17年度の桜の植樹場所として計画しており、雑木の伐採等の補助事業を活用して事業着手を予定している。また、「山の家」については、老朽化も進み利用もされていないことから16年度をもって施設開放を休止し、公園整備事業等の活



用による整備を考えているところである。



花岡 美近 議員

◆定住対策について

国勢調査時における人口目標2、600人としているが、現時点の施策と目標達成が可能なであるか伺いたい。

町長

今後、(株)ふるさと海士の新規採用等により具体的なプラス要素もあるが、海士町生活体験ツアー開催による定住希望者の受け入れ事業の開催、出郷者へのUターンの呼びかけ、町内企業の雇用情報の収集、発信等を継続的に行う。やはり、住宅不足の解消が大きな課題であり、Uインターン者向けの住宅建設や、空き家の活用等の住環境整備を拡充し、また、離島留学制度の創設やグループホーム整備等に向けた取り組みを進めながら人口増加施策を町全体で進

めたい。

◆環境美化条例制定の現状と対策について

条例が制定されて一年間が経過したが、この間、改善に兆しがなく、この実態を勘案して今後の対策について伺いたい。

町長

平成17年度の環境美化対策については、6月の環境美化推進月間をにらみ、環境美化推進対策会議を来月中旬に開催したり、子ども議会で提案のあった月1回の「ゴミを拾おうデー」の設置を検討するほか、推進月間中には各区や各事業所等の協力を得、すべての町民参加による空き缶、空きビン拾いを実施し、また、環境美化条例の中に罰則を設ける問題についても、環境美化推進対策会議の議題としたい。

◆観光振興に対する今後の施策について

観光資源拡大と海士町独自の観光PR、観光案内板の設置や観光客の安全確保について、また、「とびうおライン」の集客に対応できる受け入れ態勢について伺いたい。

町長

今後の観光振興策としては、従来の観光スポットのPRはもちろんだが、多様化する観光ニーズに対応すべく体験型・滞在型の観光メニューの提供を進めたい。観光案内板は、16年度事業の中で、整備を進めているが、その状況を見て17年度も継続的な取り組みを計画している。

「とびうおライン」の受け入れづくりについては、観光協会や商工会と検討中であり、官民一体となった態勢づくりを進めているところだ。明屋海岸の断崖については、断崖の崩落危険回避の事業費が膨大であることや、あとの景観の問題も懸念されるため、具体的な検討が行われていない。ご指摘のあったその他危険箇所や点検や観光施設の不良箇所の点検、修繕等については担当課に指示し、早急に対応を図りたい。

◆地球温暖化防止対策

市町村の取り組みとして地球温暖化対策地域協議会の設置促進並びに環境教育・環境学習の充実が重点施策に盛り込まれるようであるが、町として組織の設置と今後の対策について町長に伺いたい。また、環境教育環境学習の充実について教育長の考えを伺いたい。

町長

鳥根県の地球温暖化防止施策を一にして、町民の意識啓発に努め、ゴミの減量化やリサイクルの推進、クリーンな新エネルギーの検討、分収林整備事業や千本桜構想による緑化施策の推進等により地球温暖化防止のため、本町の取り組みが役に立つよう進める。また、行政、事業者、町民、各層の連携強化のための組織作り並びに地球温暖化対策実行計画の策定についても、



上田 正子 議員

前向きに検討していく。教育長

学校の環境教育については各教科等において指導するよう学習指導要領に定められており計画的に取り扱われて各小中学校に於いて地球温暖化について学習している。

◆梅の生産振興について

海士の塩と梅を組み合わせた特化した梅干しづくりを、町おこしの施策の一つに考え、崎地区を中心に取り組みがなされているが、今後の計画について、町長に伺いたい。

町長

今年は、更に土壌管理や品質管理、有機農法の可能性も視野に入れた栽培管理に重点を置く。6月の収穫期に中村先生を講師に梅干しづくりの研修会を開催し、加工技術の講習と、品質の向上を目指した取り組みを実施する予定、担い手育成の課題は大きなハードルであるが、特産化の活動を通して崎独自の个性的な定住対策の取り組みが可能となるよう積極的に支援を行う。また、崎地区に続く他地区での盛り上がりというか、元氣な集落づくりを期待している。



# ピカピカの1年生

教育だより

新しいランドセルを背に、ニコニコ笑顔で元気に登校しています。  
地域のみなさん、声をかけてあげて下さいね！



濱板 日陽里さん(菱浦)



池田 路吏さん(中里)



池田 拓斗くん(中里)



中村 航太くん(中里)



村上 史浩くん(福井)



宇野 未来さん(菱浦)



杵築 彰輝くん(崎)



磯谷 結加さん(中里)



久保 鈴夏さん(東)



中川 美希さん(東)



波多 海人くん(東)



田中 ひかりさん(東)



佐藤 光瑠さん(東)



真野 里帆奈さん(北分)



波多 大成くん(東)



田仲 祐人くん(豊田)



服部 生人くん(北分)



瀧川 壮太くん(宇受賀)

福井小学校へ8名入学

海士小学校へ10名入学

学校・新教員の紹介

福井小学校

児童数60名 保護者数43名

★教育目標

豊かな心を持ち、最後までやりぬく主体的な子どもの育成

★子ども像

◆(豊かな心)思いやりのある子

◆(主体的な児童)進んで学ぶ子

◆(やりぬく意志)強くたくましい子

★努力目標

1 思いやりのある子を育てる

① 友の良さと自分の良さが分かる子ども

② 郷土と学校に誇りを持つ子ども

2 進んで学ぶ子を育てる

① 疑問を持って追求する子ども

② 生き生きと活動する子ども

3 強くたくましい子を育てる

① 根気よくがんばる子ども

② 希望を持って学び続ける子ども

◆新任教員紹介



教頭 飯塚 頼寿

海士町の第一印象は、豊かな自然と元気のある町、そして人の心が温かいということ。着任してからこれまで、大勢の方との出会いがありました。どなたもあいさつやお話を気持ちよくさせてもらっています。海士町の人は、人のふれあいを大切にしています。

また、大きな声でことばを交わす輝く瞳を持った人、自分から進んでみんなのために働く人で、島中があふれているということを実感しています。私は、その仲間のひとりとして早く地域に慣れ、皆様のお力添えをいただきながら、子どもたちのためにしっかりとやっていく覚悟でおります。どうぞよろしくお願ひします。



和田 千晴

海士に来るのも先生をするのも初めてで、毎日悪戦苦闘しています。海も山も子どもも大好きなので、おもしろい海士の土地と福井小学校を楽しみたいです。まだ来てから日が浅いですが、海士の人々が子どもを宝にされていることがひしひしと感ぜられました。私も子どもを宝にして、一年思う存分ぶつかっていきうと思ひます。



仲田 小智

この春に大学を卒業して、

4月から福井小学校で先生一年生になりました。

出身は島根県出雲市です。海士は初めてなので、いろいろと教えていただけると嬉しです。わかることであれば、出雲のこともお教えします。

やる気と子どもが好きな気持ちをお大切に、これから頑張っていこうと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



中野 希子

この度、福井小学校に勤務することになりました。今年で海士町生活が2年目に入りました。だいぶん海士町のことは分かってきたように感じています。が、きつと知らないことがまだまだあると思ひます。特に福井校区は広いので子どもたちに教えてもらいながら、探検したいと思ひます。子どもたちと共に生活して

いく中で、様々なことを一緒に話したり、体験したりして、一緒に成長していきたいと思ひています。至らない点もあるかと思ひますが、精一杯頑張っていこうと思ひますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



飯古 久美子

海士町在住5年目になりました。海士のいいところをおこちで見つめては幸せを噛みしめています。野山の緑と空と海の青さは住む人の心までも明るく豊かにしてくれます。海士の子どもの純朴さと素直さは町の宝です。海士町の教育活動に携わることへの感謝の気持ちを新たに、「ふるさとを愛し、誇りに思う子ども達を育てる」ためにできることを精一杯やっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



くまもと なおひろ  
熊本 直宏

25年ぶりに母校に帰り、教壇に立てる喜びをかみしめている毎日です。教育委員会や海士中学校で学ばせて頂いた経験を生かして、全力でこども達と向き合いたいと思えます。同じ海士の子という視点に立ち、小・中3校連携して教育活動を推進したいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。



### 海士小学校

児童数58名 保護者数35名

#### ★教育目標

自ら学び、互いに認め合い、心身ともにたくましい「海士の子」を育てる。

#### ◆考える子

#### ◆助け合う子

#### ◆元気な子

#### ★経営方針

教師と子どもが「ともに学び、ともに活動し、ともに生き、ともに育つ」を合い言葉に、どの子も楽しいといえる学校づくりに努める。

具体的には、「自ら学ぶ力を育てる」「より良い人間関係を育てる」「豊かな心を育てる」「健やかな体を育てる」「ふるさとを愛する心を育てる」を本校教育の大きな柱とする。

#### ◆新任教員紹介



ながみ しやうじ  
教頭 永海 尚二

母のふるさとで働くことになりました。この土地で勤めることに何か特別なものを感じています。学校では、叔父の作詞した校歌を一生懸命歌う子どもたちの姿に感動しました。保護者・地域の皆様を支えていただきながら、ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもたちを育てていきたいと思えます。よろしくお願いたします。



ながた ゆうすけ  
永田 祐介

本年度から海士小学校で勤務させていただくことになりました。昨年度は益田市で勤務していました。隠岐に来るのは初めてですので、いろいろとご迷惑をおかけするかもしれませんが先輩方や地域の方々に教えていただきながら、精一杯がんばっていききたいと思えます。よろしくお願いたします。



まつもと つばさ  
松本 翼

今年から海士小学校で勤めさせて頂くことになりました。大根島出身で海を見て育ちましたが、こちらの透き通った海を見て感動しました。明るく元気な子どもたちと地域の方々にあたたかく迎えて頂いて、精一杯働こうとやる気を出しております。皆様にお世話になることが多々あると思えますが、よろしくお願いたします。



かのう のりこ  
加納 乃理子

松江市から来ました。社会人一年生です。海士町に来たのは初めてですが、海がきれいで人が温かく、何より子どもを考えた深く愛しているところだなあと感じました。子どもたちと学び合い、私自身成長できる一年としたいです。子どもたちのパワーに負けないよう、全力でがんばりますのでよろしくお願致します。



ほまた けんいち  
浜板 健一

3月まで福井小学校におりましたので、海士町5年目の

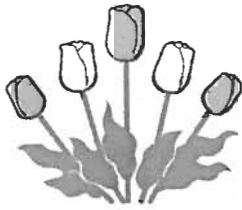
勤務になりました。豊かな自然と温かい人々に囲まれ、海士町の子どもたちは幸せだなあとつくづく思います。明るく、元気のよい子どもたちであふれる海士町を目指して、日々の教育活動に力を尽くしたいと思います。よろしくお願いたします。

**海士中学校**

生徒数63名 保護者数57名

★教育目標

- 「21世紀を心豊かに たくましく生きる人間の育成」
- ◆自ら進んで学ぶ生徒（進取・自学）
- ◆思いやりのある生徒（友愛・感謝）
- ◆明るくたくましい生徒（健康・自立）
- ◆力を合わせて働く生徒（協力・勤労）
- 「かしこく やさしく たくましく 人のために」



◆新任教員紹介



校長 つかだ みつる

25年ぶりに帰ってきました。よろしくお願いたします。



かわもと みわ 川本 美和

知夫に嫁にきて10年目です。毎朝、知夫から通っています。「楽しい数学の授業」をすることを目標に頑張ります。



はま だ まきこ 濱 真弓

常に笑顔忘れず、「普段は優しく、時には厳しく」を心がけて頑張ります。



ふくやま ひろこ 福山 弘子

子どもたちの笑顔の実現のために力を尽くしたいと思えます。よろしくお願いたします。

◆学校給食栄養士紹介



こだわら けいこ 小田川 啓子

おいしい給食づくりに頑張りますので、よろしくお願いたします。

教育委員会

◆放課後の遊びの広場 指導員2名の紹介



ふるた いくこ 古田 郁子

4月より「放課後の遊びの広場」を担当することになりました古田です。33名の元気な子ども達と一緒に走ったり

笑ったり楽しい時間を過ごせたらと思っています。よろしくお願いたします。



たけこし みさき 竹谷 美菜

西に住んでいます。この春、夫と一緒に海士町に帰ってきました。「放課後の遊びの広場」で、夕方の短い時間ですが楽しく過ごしています。よろしくお願いたします。

英会話教室メンバー募集中!

新年度、新しいこと始めてみませんか?

講師：デリック・ベグリー先生  
(カナダ出身・中学校英語指導助手)

日時：毎週木曜日  
初級クラス 19:30 ~ 20:30  
中級クラス 20:30 ~ 21:30

\*両クラス続けての受講もOKです。

場所：隠岐開発総合センター  
会費：無料(ただし、パーティーなどイベント時は少し負担もあり)

内容：ゲームや色々な教材を使った楽しい授業です!

お問い合わせ・お申し込み先は・・・  
海士町中央公民館 TEL②-1221

~中学生・高校生の参加も待ってるよ~



合格おめでとう

233回全国珠算学校連盟検定

(3/20実施)

- 2級 佐藤 太陽(東)
- 2級 吉元 麻湖(菱浦)
- 3級 沼田 菜那(中里)
- 3級 真野 航大(北分)
- 4級 佐藤真理愛(東)
- 5級 宇野 馨華(北分)
- 5級 山戸 彪雅(豊田)
- 6級 宇野 由希(北分)
- 6級 藤田 大貴(宇受賀)
- 7級 松田 直也(宇受賀)
- 2級 青山健太郎(菱浦)
- 2級 山崎 理沙(菱浦)
- 3級 佐藤 太陽(東)
- 3級 中村 優花(中里)
- 4級 青山 達哉(菱浦)
- 4級 中川 慎哉(東)
- 5級 佐藤真理愛(東)
- 5級 藤田 理子(北分)
- 5級 真野 航大(北分)
- 6級 山戸 彪雅(豊田)
- 6級 渡辺 優人(福井)
- 6級 波多 綾華(東)
- 6級 藤田 大貴(宇受賀)

海士町情報公開制度による開示状況

条例の規定に基づく平成16年4月1日から平成17年3月31日までの一年間、開示請求はありませんでした。

春の全国交通安全週間

4月6日～15日



女性警察官の服装で交通安全の呼びかけをする様子

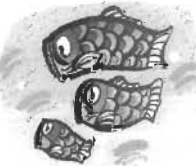
4月6日、交通安全テント村を中里の元NTT前十字路に設置し、通勤する車や自動二輪車等を止め、交通安全の呼びかけを行いました。

今年度の重点目標

- ①子どもと高齢者の交通事故防止
- ②シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③二輪車の安全利用の推進

町民一人ひとりの交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を推進し、交通事故防止の徹底を図りましょう！

窓の戸籍



2/1 3/31届出分(太字は地区在住者)

すこやかに

- 村尾 海星くん 幸浩 保々見
- 秋月 優芽ちゃん 雅輝 日須賀
- 福島 苺香ちゃん 健司 宇受賀
- 藤田 昌士くん 信弘 豊田
- 山下 陽生くん 浩幸 豊田
- 天野優士郎くん 正利 北分在住

しあわせに

- 加藤 大輔さん 菱浦
- 大門 典子さん 菱浦
- 三島 久生さん 西
- 村上 恵理さん 西
- 木村 明寛さん 菱浦
- 濱名 裕子さん 菱浦
- 岩城 雅美さん 菱浦
- 興津由美子さん 菱浦

やすらかに

- 濱中 強さん 菱浦
- 横手 和恵さん 菱浦
- 今本 和外さん 東
- 山村 恭子さん 東
- 柏谷 基樹さん 西
- 杉田 理紗さん 西
- 澤田 正志さん 福井
- 阪本 恵さん 福井
- 石川 忍さん 福井
- 堂根 理恵さん 崎
- 八旗 満彦さん 御波
- 中田 幸さん 御波
- 田村 武士さん 菱浦
- 小川 朝美さん 菱浦
- 小林 稔さん 菱浦
- 向山 千里さん 東
- 吉田 弘江さん 崎
- 魚山 裕さん 菱浦
- 竹村 タメさん 知々井
- 崎野百合子さん 豊田
- 原田 光枝さん 知々井
- 稲村 ハルさん 御波
- 福本カネ子さん 崎
- 高見 烈夫さん 知々井
- 安部 イツさん 西
- 大野 榮さん 菱浦
- 崎 トメ子さん 中里
- 小仲 シンさん 知々井
- 和田 アイさん 御波

紙上からお礼

- 香典返し
- 金一封 岩城 勲様(菱浦)
- 金一封 吉岡 光代様(大阪市)
- 見舞返し
- 金一封 月坂 武夫様(西)
- 金一封 千歳 重造様(知々井)
- 金一封 真野美樹子様(西)
- 金一封 村上菊之進様(北分)
- 寄付金
- 金一封 鴨田 庸様(崎)
- 金一封 牧野 京子様(北分)

あま 海士っこ



藤田みことちゃん(2歳10ヶ月)

平成14年7月10日生まれ 諭さん・順子さんのお子さん (菱浦在住)

「みんなの愛を受けて、こんなに大きくなりました。」

このコーナーでは、就学前までのお子さんを紹介しています。写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしております。

問い合わせ先:総務課広報係 TEL2-0115

住居者のコーナー 春の農作業安全運動



春の、農繁期を迎え、農耕車等を運転する機会が増えるとともに、例年農作業中及び移動中の事故が多く発生しています。農作業及び移動する際は、農機具の使用法や移動時の交通ルールを守り、事故防止に心掛きましょう。

- 広報郵送料
- 金一封 稲村 祥介様(東京都)
- 金一封 道橋 健一様(松江市)
- 金一封 澤田 克己様(滋賀県)
- 金一封 福山 重昭様(隠岐の島町)
- 金一封 神崎香津子様(枚方市)
- 金一封 村尾 昌信様(西ノ島町)
- 金一封 大江 一郎様(豊中市)
- 金一封 近藤 登様(東京都)
- 金一封 菅 勇一朗様(東京都)